

「中学校、好きでしたね」

校長面接にきた3年生の言葉

3年生が9年間の義務教育を終え、巣立とうとしています。

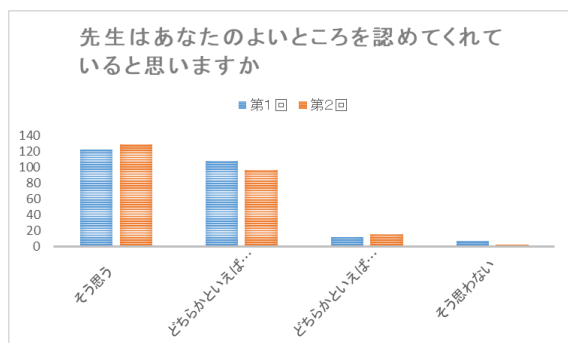
まずは、保護者の皆様。これまでの本校の様々な教育活動へのご理解、ご協力ありがとうございました。特に進路の決定に関しては、ご家庭でのサポートが大きな支えになりました。受験日前日まで中学校生活をきちんと送り、緊張の想いを持ちながらも仲間と一緒に乗り越えていました。当日も、自分の試験が終わったあとで学校に顔をだしてくれる生徒が多くいました。大切な仲間と中学校での残り少ない日々をいとおしむように過ごす彼らの姿を胸が熱くなる思いで見えています。

1月から2月にかけて、受験前の何人かの生徒たちと面接をしました。私の「中学校はどうでしたか？」という問いかけに、「中学校、好きでした」と言ってくれる人の多いこと。理由を尋ねると「男女分け隔てなく仲が良い」とか「先生たちが親切」と答えてくれました。教員にとって一番嬉しい言葉です。でもね、ここで声を大にして言わせていただきます。先生たちも3年生のこと、好きでした。私たちは、3年生の皆さんと過ごす日々の生活の中で、または行事のたびに「仲間を思いやる優しさ」に心打たれ、「やる時はやる」態度に驚き、感動させられてきました。（多分、シャイな先生たちは皆さんの前ではそんな素振りは見せないし、言わないと思うので、傍らで見てきた私が代弁させていただきます。）3学年代表の先生の「あの子たちなら大丈夫」「あの子たちならきっとやる」という言葉を何度聞いてきたことでしょうか。

あと1週間ほどで卒業式です。3年生がどんな「有終の美」を飾るのか、楽しみです。その一方でお別れの日が近づくのが寂しくもありの春です。

さて、北の台中学校は、神奈川県教育委員会から児童・生徒が主体的に学ぶことの意義や楽しさを感じ、学習意欲を高め、学びの質を向上させるための研究を委託されています。そこで研究をより深めるために、アンケートをとりました。下のグラフはその抜粋です。アンケートは昨年6月と11月の2回全校生徒を対象にタブレット端末から回答するものでした。回答は四択で、質問に対し「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」です。

ご覧の通り、本校では、92%以上の生徒が肯定的な回答をしています。「自分の良いところを認められている」という実感を持つことは学ぶ意欲を伸ばすための大切な要因の一つです。この結果は、現在の生徒と教師が良好な関係を築いていることを示していますし、この関係があってこそ、学校が楽しい、学ぶことが楽しい、という気持ちになるのだらうと思います。その反対に否定的な回答をしている生徒がいることは見逃せません。引き続き、丁寧に彼らを認め、励ますような指導や支援をしていきます。



今年度の学校だよりは最終号となりました。保護者の皆様、地域の皆様と共に生徒たちの成長を喜び合えることは私にとって何事にも代えがたい喜びです。これも皆様のご理解、ご協力あってこそ。感謝申し上げますとともに今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年度3月行事予定

日	曜	校内行事	清掃	B日課
1	土			
2	日			
3	月⑥			
4	火⑥	「生命と性の健康教育講演会」:3年	○	
5	水⑤			
6	木⑥	「防災講座」:3年 「性教育講演会」:2年		B
7	金⑥	専門委員会(後期反省②)	○	B
8	土			
9	日			
10	月⑥	卒業式予行		
11	火④	卒業式準備	○	
12	水	第43回卒業証書授与式		
13	木⑤			
14	金⑤		○	
15	土			
16	日			
17	月⑥	定通分割選抜 共通検査・特色検査		B
18	火⑤	定通分割選抜 特色検査	○	
19	水⑤	1学年球技大会、生徒会交流会		B
20	木	春分の日		
21	金⑥	2学年球技大会、給食終了、定通分割選抜 合格発表	○	B
22	土			
23	日	天皇誕生日		
24	月③	1~2授業、3大掃除		
25	火③	修了式、離退任式		
26	水			
27	木			
28	金			
29	土			
20	日			
31	月			

授業日数 16日

最終下校時刻 3月 17:30